

# 新生児ICU 常に満床

## 64施設調査

### 空き平均0.8床

重症の妊産婦や新生児の緊急治療にあたる全国の総合周産期母子医療センターに対し、治療態勢などについて読売新聞がアンケートしたところ、早産児などを受け入れる新生児集中治療室（NICU）の稼働率が「100%」と答えた病院が3割にのぼった。脳出血を起こした妊婦が病床不足などを理由に8病院から受け入れられず、東京都立墨東病院で死亡した問題から一年たつが、受け入れ困難の背景となっている病床不足の実態が改めて浮き彫りになった。

△関連記事3面

青森県立中央病院（青森市）では、新たな入院がある時には、比較的症状が軽い患者を、本来は退院や一般病棟への転棟を控えた時期に入る「回復室」に移し、やりくり。人工呼吸器が不要になつた患者は元の病院に戻すなどして、病床を確

保しているという。  
また鹿児島市立病院では、満床時に搬送依頼があつた場合、新生児専用のドクターカーで医師らが現場に急行し、応急処置をしながら他の協力病院に搬送するなどして対応している。

墨東病院問題が起きた東

京都では3月、最重症の妊娠産婦を必ず受け入れる「スーパー総合周産期センター」を都内に3か所指定し、輪番制で責任を取る態勢を組んだ。現在のところ最重症妊娠産婦の「たらい回し」はないという。

一方、読売新聞が全国47都道府県に対し行ったアンケートでは、全国のNICUの合計数は2429床と、1年前に比べ145床増えた。とはいっても、都道府県別みると、厚生労働省の有識者会議が今年2月に示した必要病床数（出生数1000人当たり2・5～3床）を満たしていたのは16自治体（34%）で、地域による格差も大きい。



調査は今月、全国のセンター77か所（4月時点）に行い、64施設（回収率83%）から回答を得た。NICUの今年4月～9月の平均稼働率は93・7%で、「ほぼがない」とが分かる。

中日を破って日本シリーズ進出を決め、阿部を先頭に場内を1周する巨人ナイン（24日、東京ドーム）=吉川綾美撮影

## 東アジア共同体賛同の声

### ASEAN首脳会議

【ホアヒン（タイ中部）】佐藤昌宏、田中哲也】鳩山首相は24日、日本と東南アジア諸国連合（ASEAN）

N、ASEAN・日中韓（ASEANプラス3）の第12回首脳会議に相次いで出席した。

日・ASEAN首脳会議で、首相は持論の「東アジア共同体」構想を説明。「日本外交政策として、日米同盟を基軸に位置づけていく」と前置きした上で、「共同体構築という長期的ビジョンを掲げ、開かれた地域協力の原則に立って、協力

AN共同体構築を積極的に支援するため、メコン川流域開発や感染症対策などの協力強化を表明した。△関連記事2・4・7・9面

「普天間、私が決める」首相



ことわざ大百科  
Y&Y口曜版にワイズ

【ホアヒン（タイ中部）】い」ということではない。閻

京都では3月、最重症の妊娠産婦を必ず受け入れる「スーパー総合周産期センター」を都内に3か所指定し、輪番制で責任を取る態勢を組んだ。現在のところ最重症妊娠産婦の「たらい回し」はないという。

一方、読売新聞が全国47都道府県に対し行ったアンケートでは、全国のNICUの合計数は2429床と、1年前に比べ145床増えた。とはいっても、都道府県別みると、厚生労働省の有識者会議が今年2月に示した必要病床数（出生数1000人当たり2・5～3床）を満たしていたのは16自治体（34%）で、地域による格差も大きい。